

必須研修プログラム

※全ての講義に形成的評価のための**確認テスト**がついています。

※全ての職員の**受講履歴を一括管理**できます。

医療・患者安全

タイプA「ポジコ」

ポジティブコミュニケーションの切り口から事例動画で見せる

医師監修：元・国立がんセンター中央病院院長／公益財団法人ときわ会顧問 **土屋了介氏**
 監修：公益財団法人ときわ会 常磐病院 医療安全管理部 副部长／薬剤師 **仲本広世氏**
 解説：放送作家／日本初の漫才セミナー講師 Wマコト **中山真氏** / **中原誠氏**

- 1 返事ひとつで人間関係が深化する
- 2 共通こそがお互いの距離をグッと近づける
- 3 表情ひとつで安心感が生まれる
- 4 話し合いが上手い人のコツ
- 5 陽口でみんなハッピー
- 6 相手の心の扉を開く方法
- 7 ミスを報告しやすい上司になる方法
- 8 謝り上手になろう
- 9 成長し続ける人の聴き方

- 10 チームワークを高める意識改革
- 11 愛され先生の廊下の歩き方
- 12 届ける際の一言掛け
- 13 指示出しと指示受けで大事なこと
- 14 こまめな声かけでトラブルを減らそう
- 15 講演会・勉強会で勇気を出して質問
- 16 ほめ上手になろう
- 17 ミスやエラーのとらえ方
- 18 メールでいきなり依頼は失礼かも

- 19 患者さんと一緒に確認
- 20 確認は頻繁にした方がいい
- 21 ひとりで悩まず相談しよう
- 22 個人情報の会話は慎重に
- 23 多職種連携で仕事の質を高める
- 24 「わかりません」が1番大事
- 25 ルールがある理由を知っておこう

2025年度追加予定!

タイプB「講義」

WHO 患者安全カリキュラムガイドをベースにした医療・患者安全研修

各講義：20分程度

監修：京都大学医学部附属病院医療安全管理部 教授 **松村由美氏**

内容	WHO患者安全カリキュラムガイド	講師
1 患者安全の基本	患者安全とは	京都大学医学部附属病院医療安全管理部 教授 松村由美氏
2 ヒューマンファクターズ	患者安全におけるヒューマンファクターズの重要性	京都大学医学部附属病院総合臨床教育・研修センター 特定病院助教 植野司氏
3 安全文化の醸成	システムとその複雑さが患者管理にもたらす影響を理解する	京都大学医学部附属病院医療安全管理部 教授 松村由美氏
4 チーミング	有能なチームの一員であること	京都大学医学部附属病院初期診療・救急科 / 救急部 教授・部長 大鶴繁氏
5 インシデント報告と分析	エラーに学び害を防止する	京都大学医学部附属病院医療安全管理部 助教 加藤果林氏
6 リスクの理解と管理	臨床におけるリスクの理解とマネジメント	順天堂大学 健康データサイエンス学部 教授 山本憲氏
7 品質改善の手法	品質改善の手法を用いて医療を改善する	京都大学医学部附属病院総合臨床教育・研修センター 助教 染谷真紀氏
8 患者安全への患者参加	患者や介護者と協同する	京都大学医学研究科 社会健康医学系専攻 特定准教授 岡田浩氏
9 コミュニケーション	患者や介護者と協同する	京都大学医学研究科 婦人科学産科学 助教 江川美保氏
10 医薬品の安全管理	投薬の安全性を改善する	京都大学医学部附属病院 医療安全管理部 助教 山本崇氏
11 心理的安全性と医療安全	有能なチームの一員であること	京都大学医学部附属病院医療安全管理部 教授 松村由美氏
12 ダブルチェックの落とし穴	患者安全におけるヒューマンファクターズの重要性	京都大学医学部附属病院医療安全管理部 教授 松村由美氏

必須研修プログラム

※全ての講義に形成的評価のための確認テストがついています。
※全ての職員の受講履歴を一括管理できます。

感染予防対策

各講義：20分程度

監修：埼玉医科大学総合医療センター 総合診療内科 教授 岡 秀昭 氏

内容	講師
1 感染予防対策の基本	埼玉医科大学総合医療センター 総合診療内科 教授 岡 秀昭 氏
2 感染対策に関する組織とルール	埼玉医科大学 医学部 総合診療内科 准教授/専任講師 三村 一行 氏
3 スタンダードプリコーション	埼玉医科大学 医学部 総合医療センター 感染症科・感染制御科 助教 川村 隆之 氏
4 手指衛生と感染予防	埼玉医科大学 医学部 総合診療内科 准教授/専任講師 三村 一行 氏
5 感染経路別予防策	埼玉医科大学 医学部 総合診療内科 准教授/専任講師 三村 一行 氏
6 針刺し予防策と対応	埼玉医科大学総合医療センター 総合診療内科 助教 西田 裕介 氏
7 代表的なワクチン接種	埼玉医科大学 医学部 総合診療内科 准教授/専任講師 三村 一行 氏
8 ポストコロナ時代の感染症トピックス (2024年度まで配信)	埼玉医科大学 医学部 総合診療内科 准教授/専任講師 三村 一行 氏
9 感染症における経過の見方 2025年度 追加予定!	埼玉医科大学 医学部 総合診療内科 准教授/専任講師 三村 一行 氏
10 2025年度 感染対策トピックス 2025年度 追加予定!	埼玉医科大学 医学部 総合診療内科 准教授/専任講師 三村 一行 氏

NEW!

災害対策

各講義：20分程度

監修：厚生労働省 DMAT事務局 事務局長 小井土 雄一 氏

内容	講師
1 病院における災害（総論）	厚生労働省 DMAT事務局 事務局長 小井土 雄一 氏
2 災害時の病院管理 ～CACSTTT	愛知医科大学 災害医療研究センター センター長/教授 津田 雅庸 氏
3 災害時の情報共有	愛知医科大学 災害医療研究センター 助教 柴田 隼人 氏
4 災害時の患者安全 ～いかに継続診療を提供するか？	地方独立行政法人神奈川県立病院機構本部 理事長 阿南 英明 氏
5 災害時の多職種連携のポイント～院内活動	厚生労働省 DMAT事務局 事務局次長 三村 誠二 氏
6 平時の災害対策～計画と準備	厚生労働省 DMAT事務局 事務局長 小井土 雄一 氏
7 地域包括BCP～地域での役割	愛知医科大学 災害医療研究センター 講師 高橋 礼子 氏
8 災害時のメンタルヘルス	愛知医科大学病院 看護部、愛知医科大学 災害医療研究センター クリティカルケア認定看護師/特定看護師 川谷陽子 氏

必須研修プログラム

※全ての講義に形成的評価のための**確認テスト**がついています。
※全ての職員の**受講履歴を一括管理**できます。

重症度、医療・看護必要度

各講義：20分程度

監修：関西看護医療大学 看護学部 看護科 小児看護学 特任教授 **箕浦 洋子** 氏

内容	講師
1 概論・アセスメント共通項目	関西看護医療大学 看護学部 看護科 小児看護学 特任教授 箕浦 洋子 氏
2 A項目の評価方法	関西看護医療大学 看護学部 看護科 小児看護学 特任教授 箕浦 洋子 氏
3 B項目の評価方法	関西看護医療大学 看護学部 看護科 小児看護学 特任教授 箕浦 洋子 氏
4 C項目の評価、まとめ	関西看護医療大学 看護学部 看護科 小児看護学 特任教授 箕浦 洋子 氏

BLS

各講義：20分程度

監修：吉田学園医療歯科専門学校 救急救命学 学科長 **三上 剛人** 氏

内容	講師
1 医療者のためのBLSアルゴリズム	吉田学園医療歯科専門学校 救急救命学 学科長 三上 剛人 氏
2 BLSスキルトレーニング	吉田学園医療歯科専門学校 救急救命学 学科長 三上 剛人 氏
3 BLS実践	吉田学園医療歯科専門学校 救急救命学 学科長 三上 剛人 氏

メンタルヘルスケア

各講義：20分程度

監修：筑波大学 医学医療系 災害・地域精神医学 准教授 **高橋 晶** 氏

内容	講師
1 支援者支援の考え方、ラインケア～病院としての対応	筑波大学 医学医療系 災害・地域精神医学 准教授 高橋 晶 氏
2 医療従事者が受ける衝撃的なストレス ～バーンアウトしないために	筑波メディカルセンター病院 精神看護専門看護師 木野美和子 氏
3 若手看護師のメンタルヘルス	順天堂大学 医学部 附属練馬病院 精神看護専門看護師 山口久美 氏
4 看護管理職のメンタルヘルス	順天堂大学 医学部 附属練馬病院 精神看護専門看護師 山口久美 氏
5 組織によるメンタルヘルスのラインケア	筑波メディカルセンター つくば総合健診センター 看護部長 光畑 桂子 氏
6 効果的なセルフケア ～心と体のストレッチマインドフルネスとコンパッション	慶應義塾大学 健康マネジメント研究科 精神看護専門看護師 佐藤 寧子 氏

必須研修プログラム

※全ての講義に形成的評価のための**確認テスト**がついています。
※全ての職員の**受講履歴を一括管理**できます。

チームビルディング

各講義：20分程度

監修：筑波大学 医学医療系 地域医療教育学/附属病院 総合診療科 教授 **前野 哲博** 氏

内容	講師
1 チームビルディング&リーダーシップ① チームビルディングの原理原則	株式会社テルメイク 大曾根 衛 氏
2 チームビルディング&リーダーシップ② リーダーシップの基礎	株式会社テルメイク 大曾根 衛 氏
3 コンフリクトマネジメント～今日から使える対応術	筑波大学総合診療科/ life story合同会社 福田 幸寛 氏
4 コミュニケーション～今日から使える対応術	筑波大学総合診療科/ life story合同会社 福田 幸寛 氏
5 フィードバック技法	筑波大学 医学医療系 地域医療教育学/附属病院 総合診療科 教授 前野 哲博 氏
6 ミーティングファシリテーション① ファシリテーションの基本構造編	株式会社テルメイク 大曾根 衛 氏
7 ミーティングファシリテーション② 心構えと基本スキル編	株式会社テルメイク 大曾根 衛 氏
8 安全で効果的な技能教育	筑波大学 医学医療系 地域医療教育学/附属病院 総合診療科 教授 前野 哲博 氏

ホスピタリティ

各講義：20分程度

監修：関西看護医療大学 看護学部 看護科 小児看護学 特任教授 **箕浦 洋子** 氏

内容	講師
1 病院におけるホスピタリティ	関西看護医療大学 看護学部 看護科 小児看護学 特任教授 箕浦 洋子 氏
2 病院職員のホスピタリティ	関西看護医療大学 看護学部 看護科 小児看護学 特任教授 箕浦 洋子 氏
3 看護職員のホスピタリティ	関西看護医療大学 看護学部 看護科 小児看護学 特任教授 箕浦 洋子 氏
4 ホスピタリティの実際	関西看護医療大学 看護学部 看護科 小児看護学 特任教授 箕浦 洋子 氏

急変対応・予防

各講義：20分程度

監修：令和健康科学大学看護学部看護学科 教授/臨床シミュレーションセンター長 **増山 純二** 氏

内容	講師
1 患者急変対応時の院内医療体制	令和健康科学大学看護学部看護学科 教授/臨床シミュレーションセンター長 増山 純二 氏
2 患者急変対応フローチャート① 患者急変の病態変化と緊急度・重症度	令和健康科学大学看護学部看護学科 教授/臨床シミュレーションセンター長 増山 純二 氏
3 患者急変対応フローチャート② ABCDEアプローチ	令和健康科学大学看護学部看護学科 教授/臨床シミュレーションセンター長 増山 純二 氏
4 患者急変対応フローチャート③ 看護問題 急性増悪/合併症評価	令和健康科学大学看護学部看護学科 苑田 裕樹 氏
5 患者急変対応フローチャート④ 臨床推論	令和健康科学大学看護学部看護学科 苑田 裕樹 氏
6 患者急変対応フローチャート⑤ 救急処置・緊急検査・再評価・SBAR報告	令和健康科学大学看護学部看護学科 教授/臨床シミュレーションセンター長 増山 純二 氏

必須研修プログラム

※全ての講義に形成的評価のための**確認テスト**がついています。

※全ての職員の**受講履歴を一括管理**できます。

2025年度 追加!

身体的拘束最小化

各講義：20分程度

監修：帝京大学 医療技術学部看護学科 教授 / 精神看護専門看護師 寺岡 征太郎 氏

内容	講師
1 身体的拘束最小化の基本的考え方（総論）	名古屋市立大学大学院 看護学研究科精神保健看護学 准教授 / 精神看護専門看護師 桐山 啓一郎 氏
2 組織で取り組む身体的拘束最小化チームづくり	筑波メディカルセンター病院 老人看護専門看護師 石井 智恵理 氏
3 慢性疾患における急性増悪時の身体的拘束最小化の取り組み	日本赤十字看護大学 広尾キャンパス成人看護学 准教授 / 慢性看護専門看護師 河田 照絵 氏
4 一般病棟における身体的拘束最小化をめぐる精神看護	名古屋市立大学大学院 看護学研究科精神保健看護学 准教授 / 精神看護専門看護師 桐山 啓一郎 氏
5 身体的拘束最小化に取り組む看護管理者の役割	公益社団法人 石川県看護協会 会長 小藤 幹恵 氏

2025年度 追加!

意思決定支援

各講義：20分程度

監修：医療法人社団悠翔会 看護事業部長/悠翔会訪問看護ステーション東京 NPO法人楽患ねっと 副理事長
医療コーディネーター 岩本 ゆり 氏

内容	講師
1 アドバンス・ケア・プランニングの基本的考え方（総論）	岩手保健医療大学 成人看護学 教授 臨床倫理研究センター長 三浦 靖彦 氏
2 意思決定支援の理解と活用	岩手保健医療大学 成人看護学 教授 臨床倫理研究センター長 三浦 靖彦 氏
3 意思決定支援の手順と方法	医療法人社団悠翔会 看護事業部長 / 悠翔会訪問看護ステーション東京/NPO法人楽患ねっと 副理事長 医療コーディネーター 岩本 ゆり 氏
4 患者・家族からの意思決定支援の相談事例（病院）	医療法人社団悠翔会 看護事業部長 / 悠翔会訪問看護ステーション東京/NPO法人楽患ねっと 副理事長 医療コーディネーター 岩本 ゆり 氏
5 患者・家族からの意思決定支援の相談事例（在宅）	医療法人社団悠翔会 看護事業部長 / 悠翔会訪問看護ステーション東京/NPO法人楽患ねっと 副理事長 医療コーディネーター 岩本 ゆり 氏

※講師の所属・肩書きは講義収録当時のものです。 ※内容は予告なく変更する場合があります。

講義イメージ

Step1.ハザード環境の把握（立地特性）
平成30年7月豪雨で51名死亡、1,200ha浸水、最大浸水深さ5.4mの倉敷市真備町

浸水地形分類：3次元で形成された土壌
+想定降雨で事前シミュレーション
浸水浸水想定区域図
計画規模（100年に1度の確率）の降雨で5~10mの浸水が予測されている。
1,000年に1度では10~20m以上

[災害対策]
病院における災害（総論）

厚生労働省 DMAT事務局長 小井土 雄一 氏

患者から暴力を受けた看護職員へのケア
3.ストレスを乗り越えるためには・・・

- 無理をしないで 疲れたら休みをとる
- 軽い運動をする
- 深呼吸をする
- 睡眠や食事を規則正しくとる ことをこころがける
- 辛い気持ちや心を 一人で抱え込まず 信頼できる人・話しやすい人に話してみる
- 考え方のくせに気づく

[メンタルヘルス]
医療従事者が受けやすいストレス（バーンアウトしないために）
筑波メディカルセンター病院 / 精神看護専門看護師 木野美和子 氏